

# 産業医科大学呼吸器・胸部外科だより

広報誌季刊号 2012 第2号

## 今月の呼吸器外科の症例報告:

中下葉切除術を回避できた、全周性テレスコープ吻合による sleeve lower lobectomyの1例はじめに

本症例は、中葉支入口部に浸潤を認め、通常ならば右中下葉切除術が選択される右S6扁平上皮肺癌に対し、気管支管状切除術を施行し、中葉を温存し肺機能温存に努めた症例です。

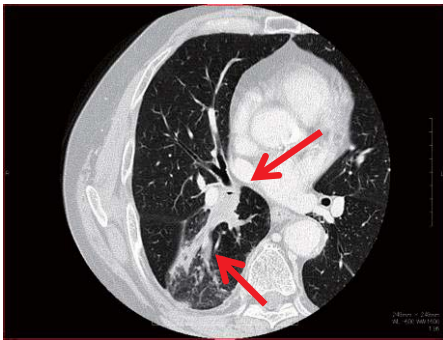
症例: 60代 男性

現病歴: 糖尿病にて近医加療中に CEAの上昇を認めました。CTにて右S6に腫瘤を認め、気管支鏡検査にて扁平上皮肺癌の診断。手術目的で当科紹介となりました。

既往歴: DM, HT

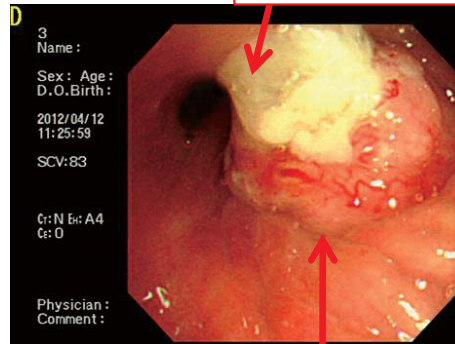
生活歴: 喫煙10-20本×50年

### 胸部CT



右S6 に28×20mmのmass  
末梢の無気肺を伴う

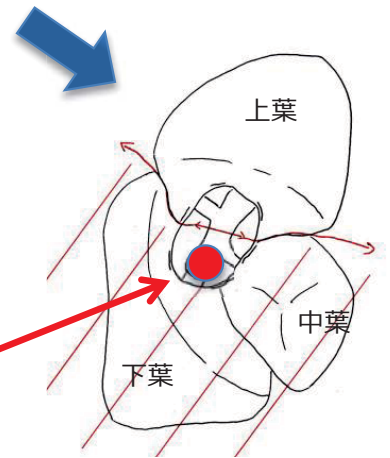
### 気管支鏡



中葉支入口部に浸潤

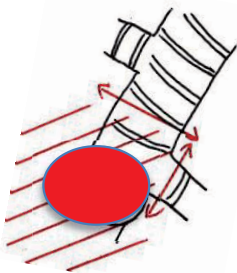
右下葉支を完全閉塞する腫瘍

通常なら、  
右中下葉切除



### 本症例の2大point: ここがgreat!

1. 気管支形成術を施行し、右下葉のみ切除し、右中葉は吻合し温存!
2. 口径差の大きい気管支を**テレスコープ (望遠鏡)**のように、すぼっとはめこむように吻合!



気管支管状切除

迅速病理: 断端陰性

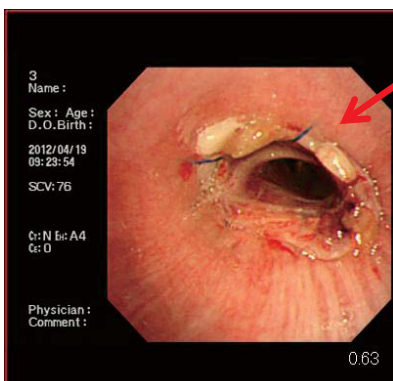


テレスコープ吻合



上葉  
温存された  
中葉  
下葉

### 術後気管支鏡



良好な吻合

拡張良好

### 術後胸部X線



### 最終病理結果

高分化扁平上皮癌  
p-T1bN0M0 stage I A  
完全切除

# 乳腺外科の症例報告

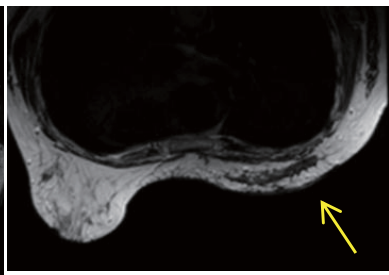
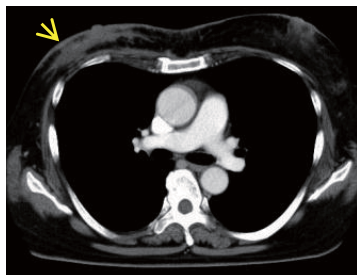
## 40代女性 進行乳癌に対して腹直筋皮弁を施行した1例

- 【主訴】 右乳腺のしこり  
【現病歴】 半年ほど前より右乳腺のしこりを自覚。  
徐々に右乳房の変形を認めたため、  
当科外来を受診  
【既往歴】 特記なし  
【家族歴】 特記なし 乳癌・卵巣癌 (-)  
【生活歴】 喫煙 (-) 飲酒 (-) 妊娠出産歴 (-) 閉経前  
【入院時現症】 右乳腺全体硬く、皮膚発赤を認める(写真→)



【画像所見】 CT

MRI

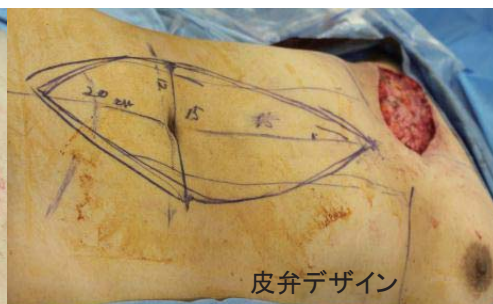


【術前診断】 進行乳癌 (T4N3cM1stageIV)

針生検: Invasive ductal carcinoma ER(+), PgR (+), Hercep test: score3

【治療】 進行乳癌症例であり、subtypeがluminal B-Her2 typeのため術前化学療法 (FEC followed Docetaxel+Herceptin) を施行した。評価はRECIST SDであったため、コントロール目的で手術を施行。

【手術】 右乳房切除術、乳房再建術 (腹直筋皮弁術)



【病理組織検査】 Invasive ductal carcinoma with Pagetoid component

NG2 ER 95% PgR 90% HER2 3+ MIB1 70%

【考察】

乳房再建術について…患者の希望により乳腺の整容性を向上するために行う手術で、当院では形成外科と合同で行っています。乳房切除術の際に同時に再建を行う一期再建と、術後一定期間をおいてから行う二期再建があります。

1) 自分の体の組織を使用する方法：腹部の筋肉を移植する方法(腹直筋皮弁法)、背中の筋肉を移植する方法(広背筋皮弁法)があります。

2) 人工乳房を使用する方法：生理食塩液バッグをそのまま挿入する方法 (単純人工乳房挿入法) と、皮膚にゆとりがない場合は、ティッシュ・エキスパンダー (組織拡張法) を用います。

【本症例のまとめ】

本症例は進行乳癌であり、術前の化学療法を終了し、転移巣がコントロールされていると判断したため、手術を選択しました。手術に際し乳房皮膚はPaget様変化を来していたため乳房再建術 (1期的再建) を選択しました。乳癌切除後の乳房再建手術は、現在では特別なものではなく標準的な治療といえます。手術後の乳房変形は、切除部位や切除量により異なるため、欠損の範囲、大きさ、患者さんの希望などに応じて治療を選択することが重要であると考えています。



# 2012 日本呼吸器外科学会の参加報告

## 第29回日本呼吸器外科学会総会@秋田

次代の呼吸器外科医に伝えたいこと ー独創的研究と教育充実に向けてー

5月17日と18日に秋田で開催された日本呼吸器外科学会総会で、当科から多くの研究成果を発表しました(16演題)。また、当教室の浦本秀隆(講師)が、平成24年の”日本呼吸器外科学会賞”を受賞し、賞を授与されるとともに受賞記念講演を行いました。

### 特別プログラム

#### シンポジウム

“肺腺癌に関するEGFR-TKI耐性に関する分子機構と進行・再発扁平上皮癌に対する治療戦略”  
浦本秀隆, 他

“EGFR変異, K-ras変異, EML4-ALK融合遺伝子及び野口分類による多発肺腺癌と肺内転移の鑑別”  
岩田輝男, 他

#### 要望ビデオ

“胸椎浸潤癌に対する左肺上葉切除術と椎体全切除術”  
浦本秀隆, 他

“術前化学放射線療法後に右肺上葉切除+気管気管支・肺動脈形成+上大静脈切除再建で肺癌完全切除し得た1例”  
中川 誠, 他

## 医局長浦本先生の日本呼吸器外科学会賞受賞講演

“肺癌切除標本を用いた生物学的悪性度及び個別化医療に関する研究”

- ①分子標的治療薬の選択及び耐性化について
- ②患者背景・組織型やバイオマーカーによる抗癌剤の選択
- ③治療抵抗性肺癌に対する取り組み

当科の研究が、全国的に評価され大変光栄に思います！！



最後は田中教授の若手呼吸器外科医に対する呼吸器外科セミナー講演

“肺癌診療のバイオマーカー”で全日程を終了しました。

学会終了後は、“イラストレイテッド肺癌手術”の著者としても有名な、兵庫医科大学胸部腫瘍学講座客員教授かつ兵庫県立がんセンター名誉院長であります坪田紀明先生と交流を深めました！



坪田先生は日本において肺癌手術のエキスパートとして高名であります。

気さくな人柄で、今回も具体的な手術手技や臨床に対する姿勢など様々なことを聞けて非常に勉強になりました。



下段前右から2番目が坪田先生

今後も臨床・研究両面において有意義で斬新な最新情報を日本に発信していきたいと思っております。当科は日本一の呼吸器外科を目指して頑張ります！  
今後とも宜しくお願い致します。

## 当科外来表

産業医科大学病院



専門分野等	火		木		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 直通093-691-7320</li> <li>■ 内線3211</li> <li>■ 診療科長：田中文啓</li> <li>■ 副診療科長：花桐武志</li> <li>■ 外来医長：宗知子</li> <li>■ 病棟医長：宗知子</li> <li>■ 医局長：浦本秀隆</li> </ul>
	午前	午後	午前	午後	
紹介、初診、再診	紹介、初診、再診	再診(予約)	紹介、初診、再診	再診(予約)	
気管、肺、縦隔	田中文啓 花桐武志 宗知子 浦本秀隆 中川誠 岡壮一 竹中賢	下川秀彦	田中文啓 花桐武志 宗知子 浦本秀隆 岩田輝男 下川秀彦 岡壮一	宗知子	
体表、一般	花桐武志 岡壮一	下川秀彦	花桐武志 下川秀彦 岡壮一		
乳腺、胸壁	花桐武志 永田好香	永田好香	花桐武志 下川秀彦 永田好香		

産業医科大学若松病院



専門分野等	火		木		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 代表093-761-0090</li> <li>■ 内線6050</li> <li>■ 外来医長：岩田輝男</li> </ul>
	午前	午後	午前	午後	
紹介、初診、再診(予約)	紹介、初診、再診(予約)	再診(予約)	紹介、初診、再診(予約)	再診(予約)	
気管肺縦隔	岩田輝男	近石泰弘	竹中賢	下川秀彦	
乳腺胸壁	岩田輝男	近石泰弘	竹中賢	下川秀彦	

## 【紹介の仕方について】

緊急患者

YES

NO

時間外

YES

NO

当院に電話連絡の上、当直医に相談して下さい。  
TEL: 093-603-1611

当科外来に連絡の上、外来担当医に相談して下さい。  
TEL: 093-691-7320

当院医療連携室に電話にて紹介受診連絡をして下さい。  
TEL: 093-691-7666

## 【当科医局員外来派遣病院】

※呼吸器・胸部疾患において、下記病院外来でも当科医局員が外来紹介患者対応をさせていただきます。

産業医科大学若松病院、済生会八幡総合病院、正和並木病院、正和中央病院、新中間病院、  
牧山中央病院、大平メディカルケア病院、西尾病院、浜崎病院、あさひ松本病院、中井病院、八幡慈恵病院

産業医科大学第2外科 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1  
TEL (093) 603-1611 / FAX (093) 692-4004 E-mail : [j-2geka@mbox.med.uoeh-u.ac.jp](mailto:j-2geka@mbox.med.uoeh-u.ac.jp)  
HP : <http://www.kitakyusyu-gan.jp/>